

ヒキヨモギ

Siphonostegia chinensis Benth. ex Hook. et Arn.

ゴマノハグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は直立し、上部がやや分枝して高さ30~60cmになり、全体に曲がった短毛が密に生える。葉はヨモギ状に羽状に深く切れ込む。花は枝先の葉腋ごとに1花をつける。花冠は鮮黄色で長さ2.5cm、上唇の先端は2裂し、下唇は3裂する。

国内分布

北海道~沖縄。

県内分布

外浦区、内浦区、南加賀区。

生態など

半寄生の1年草。花期は8~9月。

生育環境

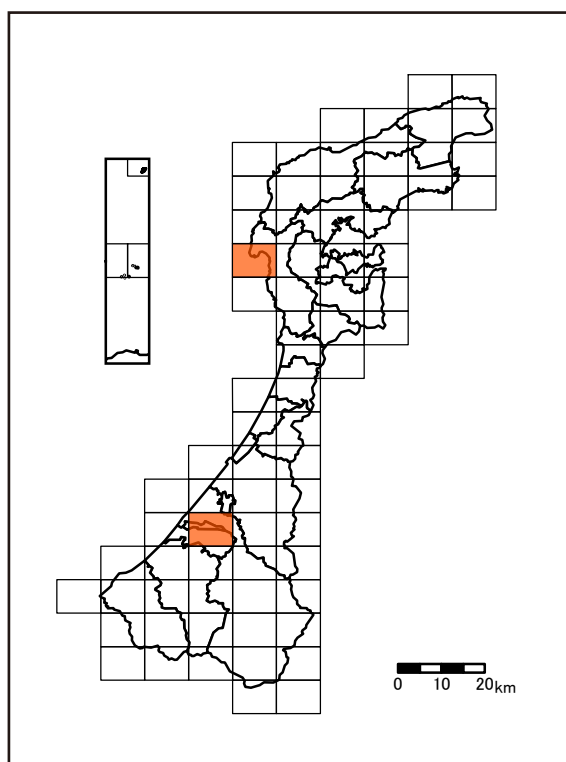
日当たりのよい草地や砂浜。

危険要因

河川開発、海岸開発、管理放棄、自然遷移、産地局限。



本多郁夫・外浦



県内の分布